

平成28年度第2回公民館運営審議会

1 開催日時 平成28年7月15日（金） 午後3時開会

2 開催場所 市民会館 3階中ホール

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委員	齋藤 隆彦
副委員長	長崎 容子	委員	関 とし江
副委員長	大野 俊江	委員	根里 恵子
委員	小川 幸男	委員	石井 智子
委員	尾高 幹男	委員	片寄 礼子
委員	田中 輝博		

(欠席委員)

委員	早川 敦
----	------

4 出席職員

教育長	川島 悟	平川公民館主幹	能城 秀喜
教育部長	井口 崇	長浦公民館館長	佐藤 紀文
生涯学習課長	原田 光雄	長浦公民館副館長	中畑 浩治
市民会館館長	石渡 悟	根形公民館館長	今井 裕文
市民会館副主幹	堀野 仁美	根形公民館副館長	花澤 吉敬
平川公民館館長	小堀 正雄	平岡公民館館長	若林 勲
平川公民館副館長	勝畑 克子	平岡公民館副館長	大津 忠志

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 委嘱状交付（川島教育長、介添え：堀野市民会館副主幹）
及び委員長・副委員長選出

袖ヶ浦市公民館並びに市民会館運営審議会会議運営規則第2条第2項に基づき、出席委員による互選により、稲毛博夫委員長、長崎容子副委員長、大野俊江副委員長を選出した。

7 議 題

- (1) 公民館事業の平成28年度取組状況について
- (2) 平成29年成人式実行委員の選出について
- (3) その他

8 議 事

議題1 公民館事業の平成28年度取組状況について

稲毛委員長

それでは、早速議題に入ります。議題1「公民館事業の平成28年度取組状況について」、各館より説明をお願いします。

事務局

(別紙資料1～10ページに基づき、石渡館長、小堀館長、中畑副館長、花澤副館長、若林館長が説明。)

稲毛委員長

ただ今、各館から説明がありました。委員の皆さんから質問や意見がありましたら、お願いします。

なお、この審議会は公民館を批判するものではなく、皆で公民館活動を発展させていくものですから、疑問な点や、こうしたらどうかなど、遠慮なく質問してください。

片寄委員

平成28年度第1回公民館運営審議会の資料から抜けている事業計画が若干ある。例えば、市民会館の「子ども映画会」、長浦公民館の「長浦雑学塾」について説明できるのであれば、参考までにお聞かせ願いたい。

石渡館長

「子ども映画会」は、今回の資料には入っていませんが、年に1回、8月5日に市民会館大ホールで実施予定で、本来はここに入れておいた方がよかったかもしれません。公民館まつりや成人式などは今後の公民館運営審議会でも説明していきたいので、今回は省略させていただきました。

中畑副館長

今回の資料では省略させていただきましたが、「長浦雑学塾」は行っていないです。

若林館長

平岡公民館では第1回公民館運営審議会資料で16項目を記載しましたが、今回は主要事業のみ説明させていただきました。その他の事業は、今後の審議会ですべて具体的に説明してまいります。

小川委員

公民館は学校の足りない部分を日頃に補ってくれており、市内の中学校安定の一因がここにあると思うので、感謝する。

平川公民館の「子どもクラブ」と根形公民館の「花まる絵画教室」は、募集定員をオーバーしている。参加者募集に多くの苦労があったと思うが、ここまで応募者が増えたのは、何か工夫があったのか。

小堀館長

平川公民館の「子どもクラブ」ですが、なぜ30名定員のところ50名の応募があったのか詳しくは分析していませんが、中川小学校に協力を積極的に依頼しました。おそらく、先生方がチラシを配布する時にアピールをしていただいたからだと思います。

花澤副館長

「花まる絵画教室」は、16名定員のところ37名の応募があつて、抽選を行いました。募集は広報紙で行いましたが、根形地区だけではなく、他の小学校からきょうだいで申し込む方もいらっしゃいました。小さいうちから絵画に接しさせたいという親の意向があるようです。

長崎副委員長

市民会館は、応募者が減少していることが気になる。

どの講座も社会教育推進員が主体になって運営しており、職員主導型ではなく地域住民が参画しているので、良い取組みだと思う。

高齢者学級の「根形ニコニコ学級」で、移動手段がない方に送迎車を出したのは、良い工夫だと思う。

公民館の社会教育推進員は、各館とも10名ずつの配置になっているが、男女比が女性7・男性3というのは、どこの館も共通しているのか。

石渡館長

市民会館の社会教育推進員の男女比は、男性2名・女性8名になっていま

す。男女比は統一しているわけではなく、各館の状況によって多い館もあれば、少ない館もあります。

長崎副委員長

長浦公民館の「男性セミナー」の参加者が少ないということですが、「女性セミナー」でご主人方に男性セミナーに入るよう依頼することを、ぜひお願いしたい。長浦地区は、定年退職した男性が閉じこもっている家庭が多くて奥様が外になかなか出られなくなったことが、「女性セミナー」の参加者が激減した原因かもしれないし、ぜひ団塊世代の男性の参加を促すよう、検討してほしい。

長浦公民館の「わんぱく教室」は、参加対象が4年生以上になっているが、参加人数が少ないので、対象年齢を3年生に下げることが可能か。

佐藤館長

「わんぱく教室」は、対象を4年生以上を原則にしているが、定員割れするようであれば、3年生以下を募集することも十分可能です。推移を見ながら、検討してみたいと思います。

「男性セミナー」は、今週に料理教室がありましたが、男性たちがエプロンをつけて悪戦苦闘していましたが、楽しそうに行っていました。このようなきっかけがなくて来られない方もいるようなので、できるだけ色々な方面から働きかけて、男性たちが参加しやすい条件を整えていきたいと思います。

尾高委員

公民館利用サークルには、発表の場が必要だと思う。できれば文化協会に入会して一緒に袖ヶ浦の文化発展に貢献していきたいので、各団体にPRしてもらいたい。

大野副委員長

先ほど平岡公民館で5館共同で子どもを対象に講座を行うと説明があったが、それが「公民館地域連携推進事業」の一部になるのか、新規事業なのか、わかりにくい。「公民館地域連携推進事業」は、5館で一括り記載した方がわかりやすいと思う。

市民会館の「幼児家庭教育学級」は、「子ども読書活動推進計画」に取り組んで、5館共同講座を公民館図書室を活用して開催するのか。

堀野副主幹

「第3次子ども読書活動推進計画」では、公民館の取り組みとして家庭教育学級において子どもの読書に関する講座を行うと決められています。各館それぞれで行うよりも、合同講座をして実施した方が効率が良いと判断して、今年度は8月末に長浦公民館と平川・平岡公民館の2つの「幼児家庭教育学級」が合同で、9月に市民会館と根形公民館の「幼児家庭教育学級」が合同で、同じ内容の子どもの読書に関する講座を行う予定です。

大野副委員長

それでは、「公民館地域連携推進事業」ではなく、「幼児家庭教育学級」の中で行うということか。

堀野副主幹

そうです。

大野副委員長

「地域家庭教育学級」の募集は、PTAと連携するか、あるいは各回ごとに募集するという2形式があるが、経験に基づいて2種類に分かれたのか。「中学校家庭教育学級」はその都度募集しているが、「地域家庭教育学級」は学級生が連携していくためには、各回募集ではなくPTAと連携していくことが理想だと思うが、参加者の意向で各回募集を行っているのか。

石渡館長

市民会館の「地域家庭教育学級」は、以前は学級制度で、時折参加者を補充しながら年間を通して講座を行っていました。ここ数年は、PTAの研修委員と連携して、各回募集を行っています。毎回違う参加者ではなく、学級生のような中心的な参加者がいます。運営方法については館内でも課題になっているので、今年中に運営方法を検討したいと思っています。

大野副委員長

長浦公民館の「お正月飾りづくり講習会」は、地域行事の伝承ができて、良い単発講座だと思う。

平川公民館では職員が地域に溶け込んで事業を行っているの、各館でもぜひ取り組んでほしい。

石井委員

同じ「女性セミナー」なのに、館によって募集定員数がなぜ違うのか。募

集定員を、どのようにして定めているのか。

2年間の期限付き講座の根形公民館の「成人絵画教室」に参加しているが、リピーターを受け入れる講座と受け入れない講座がなぜあるのか。2年間学習したらサークルに移行すべきではないか。

公民館の活動の柱の中にはサークル活動もあると思うが、サークル活動についても本日の資料の中に記載されているのか。

広報で締切日が記載されているが、締め切り後も随時募集している講座があることを知らなかったのもう少しPRしてもよいと思う。

「幼児家庭教育学級」の対象は何歳までか。今、子育て支援が大事だと思う。袖ヶ浦市は子どもを育てやすい場所であってほしいので、定員が少ない「幼児家庭教育学級」の定員が割れているというのはもったいないと思う。例えば、ターゲットの年齢を絞ったり、6回を3回にするなど、幼児家庭教育学級の充実をどのように考えているのか。

花澤副館長

根形公民館の「成人絵画教室」を2年間に限定しているのは、2年間学んだらサークル活動に移行してほしいと考えているからです。募集定員については、講師と社会教育推進員と相談して、昨年度の実績を考慮して決定しました。

石渡館長

随時募集している講座については、PRを工夫していきたいと思います。

勝畑副館長

「女性セミナー」の募集定員は、市民会館が40名、平川公民館が30名、長浦公民館が50名になっていますが、各館にそれぞれ事情があります。平川地区ですと、農業など自営業を営んでいる方が多いので、60歳以上の女性が集まりやすいという事情があります。

また、「女性セミナー」の担当者によると、40～50名よりも30名以内だとお互いに交流が図りやすいというので30名定員としましたので、ご理解願います。

平川公民館では定員割れしている講座が多いので、随時募集している講座については、7月に「平川公民館だより」第2号を発行して自治会に回覧して、講座の開始と追加募集のPRを行っています。また、市内全域の方を対象にしている園芸講座などは、ホームページで追加募集を行っています。

「幼児家庭教育学級」については、各館とも幼児の保護者を対象にしてい

ます。今後は、幼稚園児の保護者の募集も図っていきたいと思います。

若林館長

平岡公民館の「地域家庭教育学級」の募集定員は20名と他館よりも少ないのですが、対象者となる小学生の保護者が200名弱で、その一割程度を確保したいので募集定員を20名にしています。

佐藤館長

長浦公民館の講座の募集定員は、これまでの実績と講座生同士の交流が十分に行えることを考慮して決めています。長浦地区は人口が多いので、他館よりも少し多めに設定しています。

長浦公民館の「幼児家庭教育学級」は、未就学児の保護者が対象で、今のところはちょうど良い人数が集まっていると思っています。

再募集については、定員割れしている講座も若干ありますが、大々的な再募集を行ったことがないので、クチコミが良いのか、チラシを公民館に置いておいた方が良いのか、検討していきたいと思います。

今井館長

根形公民館の「地域家庭教育学級」と「中学校家庭教育学級」は、合同で開催している部分があります。委員の皆様もご承知のとおり、根形小学校・中学校とも小規模校なので、定員を定めるよりも毎回募集した方が参加者が増えるだろうと想定して行っています。

議題2 平成29年袖ヶ浦市成人式実行委員の選出について

稲毛委員長

時間があまりないので、次に進めさせていただきます。

議題2「平成29年成人式実行委員の選出について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

(別紙資料11～15ページに基づき、勝畑副館長が説明。)

稲毛委員長

それでは、各地区に分かれて実行委員を決めていただきたいと思います。

(下記のとおり、成人式実行委員を選出。)

地 区 名	選出実行委員名
昭和地区	稲毛委員長
長浦・蔵波地区	小川委員（長浦） 長崎副委員長（蔵波）
根形地区	石井委員
平川地区	大野副委員長

稲毛委員長

ありがとうございました。それでは、議題2について、他に質問はありませんか。

長崎委員

長浦地区の第2回成人式実行委員会議は新成人の出席者が1名だったので、良い意見が聞けない。成人式が終わってから直ぐに実行委員会会議を行っている館もあるので、長浦公民館でもできないか。

佐藤館長

検討してみます。去年は成人代表の出席者が1名でしたが、成人式が終わった段階で新成人の実行委員から意見聴取をしております、それを実行委員会会議で提示しています。どちらが良いのかは実行委員に判断してもらいたいので、ここでは決めかねます。

議題3 その他

稲毛委員長

他に質問がないようなので、議題2についてはこれで終わりにさせていただきます。

続きまして、議題3に移ります。議題3「その他」について、事務局から何かありますか。

石渡館長

（君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会〔以下、「君公運審連」と略す〕について説明。）

稲毛委員長

ただ今、事務局から君公運審連について事務局から説明がありましたが、ここでは副会長1名・理事1名・監事1名を選出することになります。前

年まで委員長・副委員長が充てられていたので、委員長・副委員長を充てることとしてよろしいですね。

(出席委員の承諾を得たので、副会長に稲毛委員長、理事に大野副委員長、監事に長崎副委員長を選出することとする。)

9 報告

報告1 地区住民会議平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について

稲毛委員長

それでは次に、報告1「地区住民会議平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について」、市民会館から順次説明をお願いします。

事務局

(別紙資料16～33ページに基づき、堀野副主幹、勝畑副館長、佐藤館長、今井館長、大津館長が説明。)

稲毛委員長

ただ今、各館から説明がありました。委員の皆さんから質問等があれば、お受けします。

田中委員

「根っ子の会」だけが青少年健全育成の標語を募集しているが、どのようなきっかけで開始し、どのような効果があったのか。市全体で広めても良い段階まで進んでいるのであろうか。

今井館長

「根っ子の会」の会長は、根形中学校のPTA会長が代々勤めています。その理由としては、根形中学校が生徒指導問題で荒れた時期があり、地域で中学生を健全に育てようという発想の基に「根っ子の会」が組織されたと聞いています。

その中で、青少年の健全育成の一助として、標語を児童や生徒から募集して表彰し、最優秀作を看板にしています。看板作製に費用はかかりますが、支援をいただきながら進めていまして、現在では木製の看板から単管パイプとプラスチックを使った長持ちする看板になっています。小学校・中学校で指導してくださって、児童・生徒が一生懸命に標語を創ってくれるので、そ

こが一番の成果だと考えています。地域の方々が各地区に建てられた標語看板を見て、その言葉を少しでも受けとめてくださるという期待も持っています。

根里委員

「名幸ヶ丘の会」は「平岡公民館文化スポーツまつり」に参加しているが、他の地区住民会議は「公民館まつり」に参加したと記載されていないが、どうですか。

大津副館長

各公民館まつりでも、地区住民会議の会員の方々からご協力をいただいております。

田中委員

市のドッジボール大会では、長浦地区の参加がほとんどないので、残念に思っている。「ながうら青空の会」でドッジボール大会を行うのは良いことだと思うが、なんとか子ども会と同じようにまとまって行事ができないものか。何かハードルがあるのだろうか。できれば一緒にドッジボールを行えたら良いと思うのだが、何か良い案はないだろうか。

佐藤館長

良い案かどうかはわかりませんが、長浦地区は子ども会が壊滅に近い状態なので、子ども会をどう立て直すかが喫緊の課題になっています。そのため、長浦地区は長浦地区だけのドッジボール大会を開催しています。主催は公民館と青少年相談員長浦支部ですが、そこに子ども会の関係者や児童の保護者の方々にできるだけ集まるように呼びかけて、「やはり、子どもの活動を支える子ども会組織は必要です」とアピールしています。長浦地区のドッジボール大会を市のドッジボール大会に繋げたいのですが、活動を始めてまだ1年目です。2・3年活動を続けて、子ども会の必要性や、長浦地区の子どもたちにもっと活動の場を与えようという機運が盛り上がっていくことを期待しています。

齋藤委員

各地区住民会議でいろいろな事業を展開していて、大変だと思います。ご苦労さまです。ぜひお願いしたいことは、子どもの安全を第一にして、今後も活動を行ってほしい。

報告 2 その他

稲毛委員長

他に質疑がないようなので、報告 1 については、これで終了します。
次に、報告 2 の「その他」ですが、何かありますか。

堀野副主幹

今回の第 3 回公民館運営審議会は、9 月 9 日（金）の午後 3 時から長浦公民館で行います。改めてご案内を発送させていただきますので、ご確認をお願いします。

稲毛委員長

それでは、以上で予定された案件については、すべて終了しました。慎重審議、ありがとうございました。

勝畑副館長

長時間にわたってご意見をいただき、ありがとうございました。それでは、「閉会のことば」を大野副委員長からお願いします。

10 閉会のことば（大野副委員長）

午後 5 時 20 分閉会